

ふるさとふちゅう

再発見

【第59回】府中が農村だったころ（19）～府中町内の山（2）

府中町の山というとき呉娑々宇山を思い浮かべる人は多いでしょう。町の北東方にそびえる海拔682.2mの山で、町ホームページにも登山道を記した地図が掲載されています。町内には小学校5校と中学校2校がありますが、このうち5校の校歌に呉娑々宇山が歌われています。それだけ「ふるさと府中」を象徴する山なのでしょう。

『府中中学校校歌』（1番）

「呉娑々宇の嶺悠遠に湧く雲の歴史を抱きて厳かにそそり聳ちたる朝には真澄める大気夕べには紫匂ふこの山の山ふところに萌え出づる我等しもとめ新らた代の真理にきはふ府中の学園府中の学園府中の学園（昭和24年、作詞・岡秋作）」

『緑ヶ丘中学校校歌』（1番）

「呉娑々宇の永久なる緑裾長く四方にたなびくいざ我ら溢るる気力伸びゆかむ究めてゆかむ知の泉真理の扉澄め瞳に命輝き筆執りし真摯な姿あゝ緑ヶ丘に簪り立つ我が学舎を仰ぎ見む」（昭和55年、作詞・岡つゆ子）

『府中東小学校校歌』（1番）
「呉娑々宇のみどりのふもとたくましく身体をきたえ身につけるゆたかな心くすのきの葉陰もしげああ府中東小学校」（昭和54年、作詞清水高範）
『府中北小学校校歌』（3番）

「いささそのみねはそびえてふるさとの心はゆたか求めあうよろこび胸に学びやは明るく楽しああわが母校府中北小学校」（昭和57年、作詞・野地潤家）

町内の団体や飲食店にも「呉娑々宇」の名を付すものがあります。府中で呉娑々宇山は「おらが山」と言えるなじみ深い山です。ただ、呉娑々宇山の頂上は府中町にはありません。広島市安芸区畑賀町と東区馬木町の町境に位置します。遠くからそびえ立つ姿を仰ぎ見ることも地域で愛される重要な要素なのでしょう。

府中町文化財保護審議会委員

菅 信博

魅力発信!

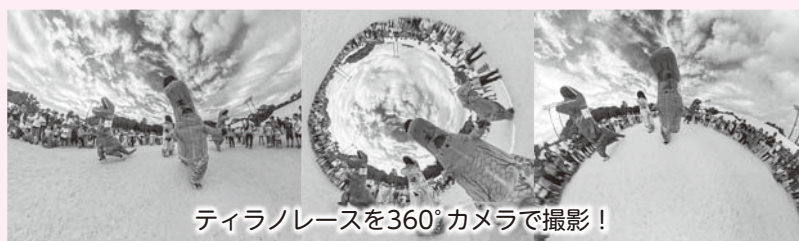
まち記者レポート

第23回府中つばき祭り(10月11日)

チェリーゴード空城パークにて、府中つばき祭りが開催されました。10月ながら最高気温29℃を記録する暑い中、来場者数9千人を記録する盛り上がり。ステージプログラムでは地域団体が日頃の練習の成果を発揮し、縁

日ではグルメやミニゲーム、バザーが約20店並びます。今年は3つのお店・団体の出店が増え、ティラノレースが初開催。初めて出店したのはこの地域のお店「深川珈琲」と「麺や時風」。深川珈琲では、店頭でも人気の自家製石焼焙煎豆を使った珈琲や焼き菓子がいただけるほか、この日のためにバターチキンカレーも用意。麺や時風ではお店で使っているあなご出汁を使ったあなごのまぜそばなど、会場限定となる3種の麺料理を準備。広島大学のボランティアサークル「スマイルズプロダクション」も初出店し、インドのお菓子や紅茶、雑貨の販売を行いました。ステージでは、スペシャルゲストとしてお笑い芸人「いつもここから」が登場。日が暮れる頃には出羽神楽団が力強い舞を披露しました。「安芸府中つばき大使」の3名も一日を通して会場を回り、地域の方と交流しました。(丸山希さん)

今年の府中つばき祭りではティラノレースが開催されると知り、一番近いところで恐竜の活躍を見たいと思い、出場を申し込みました。恐竜スーツを見にまとい準備体操。スーツの中が熱くなり体力を消耗してしまいましたが、お客さんの楽しそうな笑い声が聞こえてきました。お客さんの応援をもらいながらコースへ移動し、いざレースへ!結果、私は2着。みなさんの声援を受けながら走るのはとても気持ちよかったです。歓声や笑い声に包まれ、レースは熱く盛り上がりしました。新しいイベントを取り入れ、参加度の高さを感じたお祭りでした。(仲間裕樹さん)



ティラノレースを360°カメラで撮影!